

野菜病害虫発生予察情報

令和4年度 第6号
発行日：令和4年6月24日

調査日 令和4年6月22日（水）
調査圃場 32圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜	キスジノミハムシ	少	並	アクセルフロアブル	100～ 300L/10a	1000倍	収穫前日 まで	3回以内
なす	アザミウマ類	少	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
	ハダニ類	中	並					
きゅうり	アブラムシ類	少	並	モベントフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
	アザミウマ類	少	増					
ピーマン	疫病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	4回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒 水和剤		5000倍	収穫3日前 まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	アグロスリン乳剤 (劇)		2000倍	収穫7日前 まで	3回以内

★熱中症は真夏だけではない！梅雨時期も要注意

気温が高なくても湿度が高いと熱中症のリスクがあります。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行いましょ。

★圃場周辺の除草をしましょ

害虫の住処になりますので、圃場外の草にも注意しましょ。

除草剤を使用する際は、圃場(ハウスを含む)内の作物に登録のある薬剤を散布するようにしましょ。

★7月22日(金)・23日(土) 夏の感謝祭開催！

詳しくは営農総合センターや支店にお問合わせください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょ。

野菜病害虫発生予察情報

令和4年度 第5号
発行日：令和4年6月9日

調査日 令和4年6月8日（水）
調査圃場 34圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布 液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜 チンゲンサイ	キスジノミ ハムシ	少	並	プロフレアSC	100～ 300L/10a	2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前 まで	3回以内
にら	アザミウマ類	中	並	スピノエース顆粒 水和剤		10000倍	収穫前日 まで	3回以内
なす	ハダニ類	中	並	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
	アザミウマ類	少	並					
きゅうり	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2000～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	ハダニ類	中	並	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
	アザミウマ類	少	並					
えだまめ	カメムシ類	中	並	スタークル顆粒 水溶剤		2000倍	収穫7日前 まで	2回以内

★アザミウマ類に注意しましょう！

前回の調査に引き続き、野菜類全般で露地・ハウスを問わずアザミウマ類の発生が確認されました。葉の萎縮症状や、果菜類では果実への被害も懸念されます。早期防除を心がけましょう。

★圃場周辺の除草をしましょう

害虫のすみかになりますので、圃場外の草にも注意しましょう。除草剤を使用する際は、圃場（ハウスを含む）内の作物に登録のある薬剤を散布するようにして下さい。

★のどが渇く前に水分補給を！

熱中症対策をしっかり行いましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和4年度 第4号
発行日：令和4年5月26日

調査日 令和4年5月25日（水）
調査圃場 35圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、にら、ピーマンなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜 チンゲンサイ	キスジノミ ハムシ	少	並	アニキ乳剤	100~ 300L/10a	1000~ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	ディアナSC		2500倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	増	スピノエース顆粒 水和剤		2500~ 5000倍	収穫3日前 まで	3回以内
にら	アザミウマ類	中	増	モスピラン顆粒 水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日 まで	3回以内
なす	ハダニ類	多	並	コテツフロアブル (劇)		2000倍	収穫前日 まで	4回以内
きゅうり	アザミウマ類	中	増	モベントフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
	ハダニ類	少	並					
ピーマン	アザミウマ類	少	並	スタークル顆粒 水溶剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫前日 まで	2回以内

★病害虫に注意しましょう！

今回の巡回では上記以外でも、スイートコーンにアブラムシ、モロヘイヤにハダニ・アザミウマ類、えだまめにアザミウマ類・コナジラミ等多様な品目で、露地・ハウスを問わず害虫発生が確認されました。同系統の薬剤ばかりを多用せず、薬剤のローテーション防除を計画的に行い、密度が高くなるようにしましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和4年度 第3号

発行日：令和4年5月12日

調査日 令和4年5月11日(水)

調査圃場 30圃場(軟弱、きゅうり、なす、トマト、たまねぎ、にら、など)

調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布 液量	希釈倍数 (または使 用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミ ハムシ	少	中	モスピラン 顆粒水溶剤(劇)	100~ 300L/10a	4000倍	収穫7日前 まで	1回
ほうれんそう	べと病	多	多	レーバスフロアブル		2000倍	収穫3日前 まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	中	アグロスリン乳剤 (劇)		2000倍	収穫7日前 まで	5回以内
なす	アブラムシ類	多	少	モスピラン 顆粒水溶剤(劇)		2000~ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
きゅうり	アザミウマ類	少	中	スタークル 顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
たまねぎ	アザミウマ類	多	中	パダン SG 水溶剤(劇)		1500倍	収穫前日 まで	3回以内
	べと病	甚	中	ジマンダイセン 水和剤		400~ 600倍	収穫3日前 まで	5回以内
じゃがいも	テントウムシ ダマシ類	少	少	モスピラン 顆粒水溶剤(劇)		2000~ 4000倍	収穫7日前 まで	3回以内

★天候の変化に注意！

雨が続き多湿になったり、急に晴天となり乾燥したり天候の変化が激しくなることが予想されます。

・病害虫が発生しやすい状況ですので、こまめに圃場を確認しましょう。

・排水路を見直し、降雨前の計画的な殺菌剤の散布で予防に努めましょう。

・日照不足になると草勢が低下しますので、薬剤防除の際には薬害に注意し、気温の低い時間帯に散布するようにしましょう。

★病害虫に注意しましょう！

・小松菜・水菜でキスジノミハムシの発生が確認されています。今回の発生は少程度ですが、気温の上昇に伴い増加が予想されます。こまめに圃場を観察し、初期防除を心がけましょう。

・ねぎやきゅうりでアザミウマ類の発生が確認されています。気温が高く、乾燥が続くと発生が多くなります。多発してからの防除は困難なため、早期防除を心がけましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和4年度 第2号
発行日：令和4年4月28日

調査日 令和4年4月27日(水)
調査圃場 34圃場(葉物野菜、ねぎ、にら、たまねぎ、トマトなど)
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の使用回数
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	カスケード乳剤	100～ 300L/10a	4000倍	収穫3日前 まで	3回以内
	べと病	少	並	アリエッティ水和剤		1500倍	収穫前日 まで	2回以内
にら	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
	白斑葉枯病	少	並	アフェットフロアブル		2000倍	収穫7日前 まで	1回
いちご	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水和剤 (劇)		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	2以内
レタス	アブラムシ類	中	並	ヨーバルフロアブル		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	3回以内
	灰色かび病	少	並	アフェットフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
たまねぎ	べと病	中	増	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前 まで	4回以内
えだまめ	ヨトウムシ類	少	並	アディオン乳剤	3000倍	収穫前日 まで	3回以内	

《病害虫情報》

◆べと病の二次感染に注意！！

たまねぎでべと病の感染が増加しています。また、降雨により伝染が助長されるので、雨が降る前に予防効果のある薬剤（ジマンダイセン水和剤・リドミルゴールドMZ・アミスター20フロアブル等）で防除を徹底しましょう。

◆ハウス内の水管理・温度管理に注意が必要！！

ハウス内の気温が上昇しやすい気候が続いています。葉焼け症状が発生しないようハウス内の水管理・温度管理を適正に行いましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和4年度 第1号

調査日 令和4年4月13日(水)
 調査圃場 37圃場(葉物野菜、ねぎ、にら、たまねぎ、トマトなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミ ハムシ	少	並	プロフレア SC	100～ 300L/10a	2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	増	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前 まで	2回以内
	べと病	多	増	ランマンフロアブル		2000倍	収穫3日前 まで	3回以内
トマト	灰色かび病	少	並	アフエットフロアブル		2000倍	収穫3日前 まで	3回以内
レタス	アブラムシ類	中	並	スタークル顆粒 水溶剤		2000～ 3000倍	収穫3日前 まで	2回以内
たまねぎ	べと病	多	増	アミスター20 フロアブル		2000倍	収穫前日 まで	4回以内
	アザミウマ類	少	並	アディオオン乳剤	3000倍	収穫7日前 まで	3回以内	

《病害虫情報》

【たまねぎのべと病に注意！！】

多くのたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。今後も発生の好適な環境と予想されていますので、圃場をよく観察し注意して下さい。

◆対策◆

- 罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分する。周辺半径2m程の株については特に注意して確認してください。
- 薬剤散布をしていない圃場では発生の有無にかかわらず、薬剤防除する。

【害虫の発生に注意！！】

今後、気温が上がっていくにつれて害虫の生育周期が短くなります。薬剤抵抗性を持たせないように薬剤をローテーションで用いて防除を行いましょ。また、圃場内の寄主になる雑草も増えてきますので、こまめな除草を行いましょ。

【ハウレンソウケナガコナダニの体系処理！！】

コテツベイトはは種時～2葉期までに全面土壌散布し、そのあと2週間後にカスケード乳剤を散布する。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょ。